

2016 DAIWA KAWAHAGI OPEN

2016 ダイワカワハギオープン



決勝大会 大会結果

開催日	2016年11月26日	天候	晴れ
開催場所	久比里(竹岡沖)	気温	13.0℃
参加人数	18名	水温	18.0℃



決勝当日は、朝から冷え込みは厳しいものの、海上は比較的穏やかでまずまずのコンディションとなった。全国大会になって二回目の今回も、鹿児島予選から1名、関西・加太から2名、東海から2名、関東予選から12名(久比里11名、勝山1名)に、昨年優勝者のシード選手を加え、総勢18名での闘いとなった。

釣り座抽選は、優勝経験者の林選手が左舷1番を引き当てた。越地選手が右舷1番、左舷9番には決勝大会常連の鈴木選手、右舷9番には小林選手が入った。3連覇がかかる注目の宮澤選手が右舷8番となった。

左舷の選手



右舷の選手



(注目選手のコメント)

宮澤選手「例年よりはリラックスできています。今年の状況はあまりよくないので、普段通りの釣りをして結果がついてくればいいですね。三連覇は目指しますよ！」

林選手「言いわけできない席なので、すべてを出し切ります！」

西村選手「優勝したいです。関西代表、そして若手代表としてこの場にきているので頑張りたいです。キャスト中心に攻めて行きたいです」

当日の潮は大会時間中は終始上げ潮であることに加え、風は北向き、ミヨシ側の選手に有利な状況と思われた。大会の1週間前ごろから水温が下がり、ポイントも25m前後とやや深場に落ちて釣果も上向きに。優勝枚数は40枚前後になると予想された。



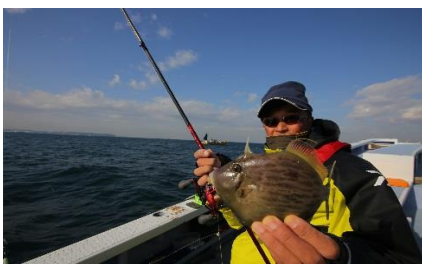
開始早々、予想通り左舷1番の林選手が好スタートを切る。同時に対角線側に位置する右舷9番の小林選手は、自ら「神がかった」と言うほどの、ダブル2連チャンでロケットスタートを決める。9時の時点で小林選手6枚、林選手5枚、橋村選手他数名が4枚だったが、1時間後の10時には小林選手15枚、林選手9枚とやや差がついた。3連覇を狙う宮澤選手は隣で快調に飛ばす小林選手に少しでも追いつきたいところだが、焦りも出てなかなか手が合わず苦戦を強いられる。



真剣勝負でも終始、笑顔は絶えない

前半戦を終えた11時の時点で、小林選手は早くも20枚。林、鈴木、落合選手が11枚で追う。11時半ごろからようやく宮澤選手がペースを上げて2番手グループに。潮が流れずなかなかミヨシ有利という展開にはならなかったものの、後半は一時ミヨシ側でダブルが連発する光景も。また、優勝経験者の堀江選手は右舷5番でコツコツと拾い続けて上位を狙える位置につける。そして13時には小林選手33枚、鈴木選手22枚、落合選手18枚、宮澤選手17枚、堀江選手15枚と2位争いが熾烈に。

ラスト1時間は宮澤選手が驚異的な追い上げを見せるが、小林選手もペースが落ちず逃げ切った。試合終了後の検量の結果、小林選手が38枚とダントツの釣果で優勝を決めた。2位は決勝大会の常連、鈴木選手で26枚、3位には後半に驚異的な追い上げを見せた宮澤選手が滑り込んだ。



後半戦は熾烈な順位争いが繰り広げられた。

小林選手は圧巻の釣果！

今年は全国総勢639名(延べ参加人数722名)の参加となりました。

ご協力いただきました各船宿様には感謝申し上げます。

またこれまでご参加いただいた全選手の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。来年もスタッフ一同さらに良い大会になりますよう努力する所存です。これからもよろしくお願いいたします。



優勝: 小林直樹選手

「勝因はどこに向かってどういう釣りをすればいいかが始めにわかったことですね。魚に対し仕掛けのラインが真っ直ぐになるような位置を見つけて、そこでフォールをかけると素直にアタってきました。釣れなくなると、釣り方ではフォールの幅、スピード、アワセ方の長さを変えました。仕掛けはシンカーの位置を変えたりエサ取りが多いときは下糸の長さを変えて対応しました。後半、宮澤さんが追いつけて失速したときも、1枚、1枚と取れたことが大きかったです。来年もいい席を当てたいけど、いつも通りのカワハギ釣りをします」

準優勝: 鈴木泰成選手

「一番を狙っていたので嬉しいです。不慣れなポイントで、最初は横に投げて拾っていたけど、真後ろの小林さんは後ろに投げてバンバン釣っている。その釣り方を真似してみたら釣れだしましたが、自分の釣りはできませんでしたね。来年は一段上を目指したいです」





















3位: 宮澤幸則選手

「3連覇がかかっていたので嬉しいです。前半は小林さんの神がかった釣りを見せられてなかなかペースをつかめなかった。後半はキャストしてタタいて止めて、震えるアタリを取って引っ掛けていくことでようやく自分の釣りができた。来年はリベンジをかけてがんばりたいと思います」



みよし

	枚数 18	6位 林 良一 選手 左-1		右-1	10位 越地 克和 選手	枚数 14	
	15	8位 西村 豪太 選手 左-2		右-2	7位 荒川 典彦 選手	17	
	7	16位 橋村 雅信 選手 左-3		右-3	8位 坂巻 春文 選手	15	
	7	16位 石井 康夫 選手 左-4		右-4	10位 田口 誠治 選手	14	
	9	14位 前田 俊 選手 左-5		右-5	5位 堀江 晴夫 選手	19	
	11	13位 稲見 清士 選手 左-6		右-6	4位 落合 和芳 選手	21	
	7	16位 佐野 元喜 選手 左-7		右-7	15位 市原 裕司 選手	8	
	13	12位 岸 義信 選手 左-8		右-8	3位 宮澤 幸則 選手	25	
	26	準優勝 鈴木 泰成 選手 左-9		右-9	優勝 小林 直樹 選手	38	

順位	お名前	住所	釣座	匹数
優勝	小林 直樹	草加市	右-9	38
2	鈴木 泰成	愛知県知多郡	左-9	26
3	宮澤 幸則	東久留米市	右-8	25
4	落合 和芳	江東区	右-6	21
5	堀江 晴夫	横浜市	右-5	19
6	林 良一	足立区	左-1	18
7	荒川 典彦	松戸市	右-2	17
8	坂巻 春文	藤沢市	右-3	15
8	西村 豪太	大阪府茨木市	左-2	15
10	越地 克和	伊勢原市	右-1	14
10	田口 誠治	東大和市	右-4	14
12	岸 義信	東大和市	左-8	13
13	稲見 清士	神戸市	左-6	11
14	前田 俊	泰野市	左-5	9
15	市原 裕司	江南市	右-7	8
16	橋村 雅信	鹿児島県始良市	左-3	7
16	石井 康夫	大田区	左-4	7
16	佐野 元喜	港区	左-7	7

※敬称略

※コンピューターでの表示のため、旧漢字等を修正させていただいております。予めご了承ください。

※釣った魚の総匹数で順位を決定いたします。同匹数の場合は、5位までは、釣った魚1匹の最大重量で決定いたします。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会のシード権が、2位・3位には二次予選又は東海決勝のシード権が与えられます。